



Management Message

理事
浅川 章子

～あなたにとって働きやすさとは？～

鉄道・運輸機構（JRTT）のお仕事をさせていただくようになって、もうすぐ1年が経とうとしています。担当は鉄道助成部・国鉄清算事業管理部・経営自立推進財務部および共済業務室ですが、働き方改革推進チームにも参加しています。

さて、働き方改革関連法が施行されてから5年以上が経ちました。施行後の2019年12月に新型コロナが始まり、企業も人も、多様な働き方を実践せざるを得ない状況になりました。当時、在宅勤務やオンライン会議、時差通勤、文書の電子化などに馴染みのなかった企業も、予想以上のスピードで改革を進めたところが多かったはずです。

そもそも働き方改革の最大の目的とは何でしょうか？それは労働環境を改善して「働きやすく」することで、日本が直面する人口減少と労働力不足を解消するというものです。

そして厚生労働省は「働き方改革は、働く方々が、個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を、自分で『選択』できるようにするための改革」と定義づけました。

昔の栄養ドリンク剤のCMに「24時間戦えますか？」というものがありません。当時、残業の後に飲み会まであるのが普通という中で日々仕事を続けていた私は「誰がこんなコピーを？」と内心憤っていましたが、これが流行語大賞のひとつに選ばれたことは今でもよく覚えています。「自分で選択」なんてこととは程遠い時代でしたが、大きな声にならなかつただけで「こんなのはおかしい！」と思っていた方はたくさんいたのかもしれない。

時代は変わり、今や働き方にも多様性を求めることがで

きるようになったのは良いことだと思います。しかし、選択肢が多いと悩ましい状況も生まれてきます。

あなたにとって働きやすい職場とは何でしょうか？

人によって求めるものは違いますし、同じ人でも置かれている状況によって選びたいものは違ってきます。そうすると、まず自分はどうしたいのか、そのためには何が必要かをしっかり押さえておくことが重要です。

そして、そういう組織で働いていくためには、自分以外の誰かの選択を尊重する姿勢もどうしても必要になってきます。それは上司や部下とのコミュニケーションの仕方だったり、日々の業務効率を図る小さな努力だったり、働きやすさに課題があれば声をあげて地道に解決していくことだったり、何より一緒に良くしていこうというチームスピリットを育てることだったりします。

JRTTの目指す姿は「交通ネットワーク整備を通じて、地域と共に歩み、社会に貢献し続ける組織」です。それを実現するための働き方について、さまざまな数値目標なども設定して取り組んでいます。それはあくまでも全体として状況を見るための指標です。最も大切なのは、1人ひとりがうまくいっているところや課題が多いところを折に触れ見直しつつ、今利用できる制度やデジタル推進・業務プロセスの効率化等を柔軟に取り入れていくことです。最終的には“自分にとって JRTTは働きやすい職場だ”と思えること、そのためには、JRTTの働き方について思うところがあればそれを安心して発信できるようなカルチャーがあること、それが私たちにとってのもうひとつの目指す姿であると思っています。